

令和5年度 第3回学校運営協議会

令和6年1月30日(火) 12:00 ~ 15:10
千塚小学校 家庭科室
進行：教頭 記録：教務

委員 [] 様、 [] 様、 [] 様、 [] 様、
参加 教頭 教務 校長、 7人出席

1 会長挨拶

今日午前中、宮スケートリンクでのスケート学習にボランティアで参加し、千塚小は地域の環境に恵まれている学校と改めて感じた。今日は楽しみにしていた給食試食会があり、今年度最後の回になる。本日の協議もよろしくお願ひしたい。

2 校長挨拶

元日の夕刻に能登半島地震があったが、当たり前の日常を過ごすことができることはどれだけ貴重なのか改めて考えさせられた。

近況報告。本日のスケート学習、1年・6年が行くことができた。欠席が増えたり減ったりという状況。学級閉鎖に備えて、双方向のビデオ会議の練習も行ってきた。24日(水)に保護者のみ参加の入学説明会に今年度から変更し、感染の少ない2学期に年長児と1・2年生との交流活動を位置づけた。次年度以降も続けて実施していきたい。今週金曜日、来週月曜日に授業参観が行われる。それが終わると、卒業式に向けて準備が始まる。来年度の教育課程に向けて計画が進んでいる。前回の会では、委員の皆様のご意見を伺う時間が十分とれず、申し訳なかった。本日は忌憚のないご意見をいただきたい。

3 本日の日程確認

4 給食配膳見学・試食会

ご飯・牛乳・タンメン・焼き餃子・もやし中華あえ

○ [] 栄養教諭の説明

8名の調理員で調理している。今年度より週3.5回ごはんの給食になり、地産地消ということで1年中栃木市産のコシヒカリを使用している。炊飯ジャーでごはんを炊いているため、家庭と同じように温かいごはんを食べることができ、恵まれている。和洋中の献立、栃農の野菜や豚肉を使用したり、とちすけランチも月1回取り入れたりしている。

栃木市では食物アレルギー対応にも力を入れ、病院での診断書取得の費用は栃木市が補助をしている。安全面を考慮し、除去食や代替食は12品目のみ対応している。重度のアレルギーの診断の児童生徒は家からのお弁当持参になっている。今年度運動誘発アレルギーの事例があった。教職員もアレルギーに対応できるように、研修を行っている。本校でも新たに [] アレルギーと診断された児童がいたが、保護者と教職員で何度も面談をし、丁寧に対応をしている。調味料にも何が使われているかまで確認をして、今年度から献立表にも細かく記載することにした。

[] 委員) おしくいただきました。食中毒はもちろんだが、食物アレルギーにはすごく気を遣っていることが分かった。私は [] アレルギーなので、 [] にも入っていることがあるので気を付けてみている。学校の [] は何を使っているか。

→ いろいろな人が食べられるように、かつおぶしの出汁を使っている。給食室で対応できることは栄養士でないと分からないので、面談には参加して対応している。

予算は大変ではないか。

→ 今年は値上げになっているものが多いのでなるべく安いものを選び、小松菜よりほうれん草が安ければ、材料を変えている。本当はいろいろな食材を使いたいが、安い物を購入し、何品かに利用している。

アレルギーに対しては、そのアレルギー対象児童にはそれぞれの献立表を作成し、毎月保護者にも確認をしてもらい、学校でも複数で確認をし、配膳をしている。

5 協議(協議進行：会長)

(1) 令和5年度学校評価のまとめ(教頭)

資料の確認(3種類)

学校評価の考察をもとにした検討(まとめ)

4点について教職員で話し合いをした。1つめは、家庭学習に対しての指導。意欲を高めるため

にまず個人に声掛け・称賛、そして全体にきっかけ作りや気づきを促すための指導をしていく。家庭学習強調週間前に自学ノートを互いに紹介し合う機会を設けて家庭学習への意欲向上を図る。

2つ目は学習意欲を高めるための取組。発表をすることに苦手意識をもっている児童に対して少人数での話し合い活動を取り入れたり、メタモジの付箋機能等を活用して安心して伝え合う機会を作ったりしていく。ワールドグループでの話し合い活動も取り入れていく。

3つ目はあいさつ。誰にでもあいさつするというご時世では難しいので、登下校時に交通指導員、立哨当番の方などにあいさつすることを励行している。

4つ目はメディアとの付き合い方。学年懇談会で今年度実際に児童にあった事例を挙げながら、話をする。親子で学ぶ機会を設けていく。

- 委員) 4番目のメディアは家庭のことなので、どこまで規制できるか難しいが、学校や栃木市でガイドンをもつことはできないのか。
- 委員) 時間は決めているが、親が甘いのか時間が延びてしまうことがある。視力も落ちている。知らない人との通信だけはやらないようにしている。
- 会長) うちも甘いと思う。時間は決めているが、いろいろな端末でやるので、それを全部見て確認することはできない。視力は確かに低下している。
- 委員) うちも2時間で制限しているが、高校生になり、時間もなくなったのかゲームはあまりやらなくなった。スマホがあるので、姿勢視力ともに悪くなっている。
- 委員) 高校生に規制するのは難しい。小学生ならやるときは親の前でやるなど。規制できるのではないか。
- 委員) 寝るときはリビングに置いていくことにしている。
→ 保護者の啓発が重要。保護者同士の意識も違っている。子ども同士はゲームでつながっている。それを保護者はどこまで知っているのか。各家庭のルールを保護者同士で確認することも必要。学校でのガイドラインを作ることは必要なのかもしれない。
- 委員) 中学校区で統一できるとよいのではないか。
→ 吹中では1年生で「情報モラル」について学習している。回数は少ないので、どこまで理解しているのか難しい。

学校運営協議会委員のご意見改善策等のまとめでは、貴重なご意見ありがたい。職員でも共有させていただいた。ご意見があればいただきたい。

- 会長) 「知」のことでスケートを楽しんでいる児童を見て、いろいろな体験することは、ネットでゲームをすることより有意義であると感じられるのではないか。いろいろな体験をさせることが大切である。
- 委員) 決まった遊びはできるが、なかなか自分たちで遊びを考えることは難しい。いろいろな遊びがあることを体験させる機会・働きかけをすることが必要。
→ ワールドグループで遊ぶ機会を作っているが、やはり決まった遊びになってしまう。6年生が「クモの巣おにごっこ」を紹介し、ルールを伝えてみんなで遊んだ。遊んでみたいと思えるように仕掛けをしていきたい。

○質問事項での回答について

運動会は10月に変更。保護者が楽しみにしてる表現も実施していく方向で考えている。人数が減っていることもあり、今までの低中高学年でなく、上学年・下学年で実施予定。そのことにより、今までの種目も実施することが可能となる。

体育着のゼッケンは来年度の入学生から、新しい小さなゼッケンに変更していく。

- 会長) 他校と揃えることはなくてよいのか。
→ 吹小は組まで記入する様式で、それは本校では必要ない。なるべく保護者の要望と業者に対して負担の少ないものと思い、今回のものにした。

(2) 令和5年度小中一貫教育のまとめについて(教頭)

今年度この2つの取組で行ってきた。教頭部会・教務部会の役割分担についても検討している。ご意見をいただいて、「学校関係者評価結果」に反映させていきたい。

- 会長) 参観をさせていただき、とても穏やかだと思えた。プログラミング的な思考は児童にとっては難しいと思うが、めあてを作って学習すること自体が論理的思考につながる。中学校も小学校と変わらず、穏やかで、積極的に取り組んでいる。だから自然と「認め合える」雰囲気ができているのではないか。理屈っぽい考え方になってしまう懸念はある。
- 委員) 職場体験では充実したものだった。子ども二人とも「臨海自然教室」が一番楽しかったと言っている。吹小との交流ができるのはとてもよい。もう少し時間があると、さらによい。小学校は「さん」づけだが、中学校は「ちゃん・くん」。先生と生徒のつながりはフレンドリーになっている。
→ 発達段階にもよるが、呼び捨ては禁止。あだ名も相手が嫌がるようであればしないということを指導している。人権的な配慮からジェンダーの視点でも「さん」で統一し

- で呼んでいる。場に応じた話し方ということからも授業中は「さん」にしている。
- 中学校に行ったときに人数の多い雰囲気圧倒されてしまうことが心配であるが、1学期に中学校を訪問することで、大きな集団への抵抗感が少なくなるのではないかと考えている。中学校としては、行事の精選として、千塚小だけ訪問するのはどうかと検討しているようだ。

■(会長) 自分の子どもの頃は、千塚小の児童が吹上小の児童に飲まれるという様子は感じられなかった。かえって千塚小の児童の方が積極的で人気者になっている気がした。

- 中学校区変更に伴いさらに小中一貫には力を入れていく。

(3) 令和6年度学校経営の方針(案)について 別紙参照

学校評価の結果、令和6年度の栃木市の学校教育の重点、今年度の反省を踏まえて作成した。市学校教育の重点では、「グローバル教育」の推進に力を入れていくので、本校では「多様な他者との関わり」は「グローバル教育」ともマッチしているので、変更せずに生かしていく。ご意見があればいただきたい。

■(委員) 現時点で「よく考え勉強する子どもの⑥だが、本校は少人数なので、話す児童と聞く側の立場が決まってしまうのではないかと。読書は大切。学校の中で目標を冊数で評価すること多いがどうか。

- 多様な人とは、地域の人材を考えている。そういう人たちとの関わりを増やしていきたい。外部人材を活用し、福祉・国際理解の学習をしてきた。ワールドグループでの話し合いの機会を3学期から作っていくことにした。昨年度までは冊数で児童の意欲を高めていた。図書室に通うという習慣は身に付いたので、今年度からは読書の質を高めることを目標にした。古い本を処分し、新しい本を購入し、児童の読書への意欲を高めている。

■(委員) 質を高めるためには新しい本も必要。お金がかかる。本にお金をかけることは大切。環境を整えていくことが必要。市の図書館に行くこと。読み聞かせをすること。

■(委員) 数(冊数)を読むことで楽しさが分かるのではないかと。読み聞かせでは最後まで読まずに続きは自分で読むことにするのも効果的ではないかと。

- 学校ではPOPで本の紹介し合う活動も取り入れたり、いろいろな分類にチャレンジしたりして、読んでみようという意欲を高めている。

(4) 令和6年度学校行事予定(案)について 資料4

今年度と大きく変わったのは、10月末に運動会を行い、5月に修学旅行にしたこと。理由としては暑さ対策と年度始めの6年生の負担軽減。授業参観とえのき祭を同じ日に行い授業日とし、翌週の月曜日を振替休日にした。PTA執行部にも了解を得ている。卒業式は3月18日。

■(会長) 以前のように1日開催ということはないのか。

- 市内でもコロナ後に1日開催に戻した学校もあるが、半日でも十分な内容を実施できること、子どもたちが授業の中で練習・実施できることを考えると、半日でのよいのではないかと。また運動会を土曜日でなく、平日に開催にするのはどうかということも考えているので、ご意見をいただきたい。昨年度は全保護者にアンケートをとり、8割以上の方から半日開催に賛成いただいている。

■(委員) 半日にすることで弁当を食べないため、場所取りもなくなった。

- 種目数が多かったり、完成度を高めたりしようとすると、練習ばかりになってしまうこともあった。得意不得意を考えていくと、半日がよいのではないかと。時期をずらすことで暑さに関してはかなり負担感は減る。児童のテントも準備しなくてもよくなる。

(5) 今後の取組より

栃木市版先生方の働き方改革にご協力をお願い

本校の時間外の勤務時間は、残念ながら下から数えた方が早い実態である。行事を精選したり、PTAの会議の持ち方も行事の後にやるなど工夫している。PTA執行部で話し合い、来年度の運動会・えのき祭は土曜日開催にした。土曜日の方が祖父母等も参加できるということで土曜日となった。

部活も地域移行になってきている。土日は、個人の習い事・スポーツ等に行く児童も増えてきた。えのき祭は授業日でなかったため、そのため来られない児童もいた。PTAの協力がなく実施できない行事なので、委員の方の意見をいただきたい。

■(委員) 西中は平日開催だった。結構両親で見に来ている家庭も多かった。

■(委員) 土曜日でよいと思う。月曜日の振替休日を子どもも楽しみにしている。

■(会長) 振替休日に旅行する家庭もある。働き方改革、先生方の負担を考えると、平日開催も仕方ないのかもしれない。

- 平日なら午前中運動会を実施し給食を食べて、午後片付けをすることもできる。

■(委員) 勤務が長くなってしまふ原因は何か。地域でできることがあれば行いたい。市町村によってもちがうのか。

- アシストネットで本の修繕をしていただき、職員の負担軽減につながっている。
- 委員) 人を選ばなくてはいけないが、テストの採点をやっているところもある。お声掛けいただければ、探します。
- 今後進めていきたい分野である。
- 休み時間の見守りをしていただきたい。昨年度「〇〇週間」を見直し、減らしてきたが、やはり忙しい。児童が下校してから仕事に入れる時と突発的な出来事があり、事務的な仕事に入れないことがある。保護者とのやりとりは時間外にならないとできないことが多い。
- 委員) 学校の規模により仕事の量も変わるか。
- 校務分掌は少なくなるが、児童指導関係は増える場合もある。保護者とのやりとりは直接会って話す場合は時間外になってしまう。時間で切ってしまう方法もあるが、良好な関係のためには、なかなか切ることはいえない。

とちぎ未来アシストネットボランティア交流会では、今週土曜日地域コーディネーターのさんがポスターセッションで取組を紹介する。

危機管理としていろいろな避難訓練を実施している。明日消防署に来ていただき、避難訓練を行う。来年度はALSOKで行っている「あんしん教室」を実施予定。それを学校運営協議会で見ていただきたい。

いじめ防止基本方針。友達から聞いた話を違う友達に話してしまう。ゲームの中のチャットで話したことがもとで仲間はずれ等トラブルになってしまうことがあった。いずれもすぐに対応をした。

(6) 令和6年度学校運営協議会の組織、日程(案)等について

児童の様子を見ていただきたいので、第1回目の時間を13:30からにしたいがご意見をいただきたい。

会長) 児童がいる時間に開催した方が有意義だと思う。

校長) 現PTA執行部の意見を取り入れて会議を進めていきたいと思い、会長に相談し、現P会長・退任1年目の会長・退任2年目の会長に入ってくださいことに承諾をいただいている。

6 ご意見・ご感想等

会長) 現PTA会長が入っていた方が話がスムーズなのでよいと思う。

委員) 賛成。

委員) 子どもたちを間近で見られたり、先生方と話せたりして、やってよかったと思う。忙しいのに自主学ノートに毎日コメントをくださり、子の励みになっていてありがたく思っている。

委員) 先生方の役に立てることがあれば、行きたい。だんだんいろいろな取組を行わなければならなくなっているが、先生方には頑張ってもらいたい。

委員) ここで話し合ったことで実際に何ができるかを考えられたので、よかった。学校の困り感を解決する場になってもよいのでは。具体的に「読書指導がうまくいかない、どうしたらよいか」など。

委員) 昨年度とは違う形でアシストネットを行ってきたが、話し合っただけでさらに改善していきたい。

会長) この1年間会議は3回でしたが、お世話になりました。

7 事務連絡

(1) 卒業式のご案内について

吹上ブロックで話し合い、本校では栃木市代表・学校運営協議会委員・教育振興会役員・PTA執行部役員の臨席を予定している。自治会長(教育振興会役員)の参列は、教育振興会として地域から多大なご協力をいただいているため、本校独自の判断である。ぜひご臨席ください。